



平成22年11月期 第2四半期決算短信

平成22年7月6日

上場会社名 日医工株式会社
 コード番号 4541 URL <http://www.nichiiko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

(氏名) 田村 友一
 (氏名) 赤根 賢治
 配当支払開始予定日

上場取引所 大名
 TEL 076-432-2121
 平成22年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第2四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第2四半期	30,817	15.5	3,606	15.9	3,453	12.0	1,861	14.8
21年11月期第2四半期	26,676	—	3,111	—	3,082	—	1,622	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第2四半期	60.36	60.32
21年11月期第2四半期	52.59	52.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第2四半期	60,712	20,209	33.3	655.06
21年11月期	57,466	18,809	32.7	609.79

(参考) 自己資本 22年11月期第2四半期 20,209百万円 21年11月期 18,809百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年11月期	—	15.00	—	—	—
22年11月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,500	19.5	6,850	9.7	6,600	7.8	3,900	3.7	120.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年11月期第2四半期 31,204,917株 21年11月期 31,204,917株

② 期末自己株式数 22年11月期第2四半期 353,004株 21年11月期 359,740株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年11月期第2四半期 30,848,045株 21年11月期第2四半期 30,848,767株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、「1株当たり当期純利益」につきましては平成22年6月16日に実施した第三者割当増資により増加した発行済株式数により算出しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業・製造業を中心として緩やかに企業業績の回復が見られつつありますが、円高の再燃懸念をはじめ生産設備や労働力の過剰感は依然として根強く、デフレ状態が継続する中、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、本年4月に診療報酬改定と薬価改定が実施されております。当社は薬価加重平均で約9.3%の引下げの影響がありましたが、ジェネリック医薬品使用促進策としての後発医薬品調剤体制加算の加算点数が、従来の点数よりも大幅に引上げられており、調剤市場を中心にジェネリック医薬品の市場拡大が進んでおります。

このような状況において当社は、ジェネリック医薬品の品質・生産能力・生産性の向上を目的として富山県滑川市にある滑川第一工場に大型設備投資を行い、本年4月から稼働いたしました。また、ジェネリック医薬品の市場拡大に伴い、開発の効率化・スピード化が求められますことから、ジェネリック医薬品の開発・生産・品質管理を一体として取り組むグローバル開発品質管理センター「ハニカム棟」の建設を計画しております。この新しい施設はグローバルな基準に対応した、世界に挑戦する戦略的な開発拠点として、原薬から製剤開発・生産・品質管理機能を集約した中核となる予定で、着工は本年12月、竣工は平成23年12月を予定しております。

また当社は本年5月28日付で、フランスの大手製薬会社であるサノフィ・アベンティスと、日本におけるジェネリック医薬品事業の戦略的提携に合意いたしました。この合意に基づき、日本国内におけるジェネリック医薬品事業を展開するため、並びにサノフィ・アベンティスグループの一部製品を販売するための共同出資会社「日医工サノフィ・アベンティス株式会社」を本年6月8日に設立しております。またこの提携と相互の信頼関係をより強固なものとするため、当社が第三者割当てで発行する株式1,524,500株を、サノフィ・アベンティスグループであるサノフィ・アベンティス株式会社に割当て、本年6月16日に払込みを受けて、株式の発行を終えております。今後、当社のジェネリック医薬品の専門性とサノフィ・アベンティスグループがグローバルで展開するリソースの活用により、当社は日本のジェネリック医薬品市場の創造に取り組んでまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が308億17百万円(前年同四半期比15.5%増)、営業利益が36億6百万円(同15.9%増)、経常利益が34億53百万円(同12.0%増)、四半期純利益は18億61百万円(同14.8%増)と売上高・利益とも過去最高となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ32億46百万円増加し、607億12百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が16億94百万円、たな卸資産が3億44百万円増加したほか、ペンタゴン棟の竣工に伴う設備投資により有形固定資産が11億47百万円増加したことなどによります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ18億45百万円増加し、405億2百万円となりました。これは長短借入金の純増加額が30億58百万円あったものの、未払法人税等が5億10百万円及び流動負債その他が6億38百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ14億円増加し、202億9百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、当第2四半期連結累計期間において0.3百万円の収入超過(前年同四半期は1億27百万円の支出超過)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益26億79百万円の計上や減価償却費11億40百万円の計上があったものの、売上債権が16億93百万円増加したことや法人税等の支払額が14億39百万円あったことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、当第2四半期連結累計期間において26億7百万円の支出超過(前年同四半期比4億13百万円減)となりました。これは、滑川第一工場の設備投資を主とした有形固定資産の取得による支出が21億37百万円あったことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、当第2四半期連結累計期間において25億21百万円の収入超過(前年同四半期比6億16百万円減)となりました。これは、業容の拡大に伴い長短借入金の純増加額が30億58百万円あったことなどによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、9億37百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるジェネリック医薬品の市場拡大は、引き続き進むことが予測されますことと、当期中におけるサノフィ・アベンティスグループの一部医薬品の販売開始を折り込んで、平成22年1月14日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、売上高を655億円(平成22年1月14日公表比20億円増)、営業利益68億50百万円(同2億50百万円増)、経常利益66億円(同1億円増)、当期純利益39億円(同1億円増)にそれぞれ修正をしております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している固定資産につきましては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,459,967	1,545,387
受取手形及び売掛金	16,104,518	14,410,021
有価証券	1,666	1,666
商品及び製品	9,444,540	9,931,532
仕掛品	2,805,953	2,685,719
原材料及び貯蔵品	4,222,605	3,510,942
その他	2,638,365	2,210,015
貸倒引当金	△430,000	△421,000
流動資産合計	36,247,616	33,874,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,236,233	4,989,859
機械装置及び運搬具（純額）	4,660,390	1,896,045
土地	3,410,877	3,414,764
建設仮勘定	518,275	6,626,805
その他（純額）	1,058,692	809,974
有形固定資産合計	18,884,468	17,737,449
無形固定資産		
のれん	1,024,187	1,004,048
その他	2,018,012	2,270,288
無形固定資産合計	3,042,199	3,274,337
投資その他の資産		
投資有価証券	1,442,427	1,459,754
その他	1,176,357	1,196,878
貸倒引当金	△80,271	△76,338
投資その他の資産合計	2,538,513	2,580,295
固定資産合計	24,465,181	23,592,082
資産合計	60,712,798	57,466,368

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,233,986	11,507,397
短期借入金	15,122,221	11,425,000
1年内返済予定の長期借入金	1,640,922	1,471,436
未払法人税等	989,550	1,500,284
返品調整引当金	36,000	39,000
その他	3,146,941	3,785,932
流動負債合計	32,169,622	29,729,050
固定負債		
長期借入金	4,080,911	4,888,847
退職給付引当金	2,623,927	2,577,677
その他	1,628,478	1,461,620
固定負債合計	8,333,316	8,928,145
負債合計	40,502,938	38,657,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,064,257	3,064,257
資本剰余金	1,839,638	1,837,737
利益剰余金	15,419,240	14,017,801
自己株式	△416,164	△423,731
株主資本合計	19,906,972	18,496,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,249	49,281
土地再評価差額金	261,637	263,826
評価・換算差額等合計	302,886	313,108
純資産合計	20,209,859	18,809,173
負債純資産合計	60,712,798	57,466,368

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)
売上高	26,676,449	30,817,432
売上原価	14,639,446	17,328,302
売上総利益	12,037,002	13,489,130
返品調整引当金戻入額	16,471	3,000
差引売上総利益	12,053,473	13,492,130
販売費及び一般管理費	8,942,132	9,886,047
営業利益	3,111,341	3,606,083
営業外収益		
受取利息	1,195	2,430
受取配当金	4,075	4,110
負ののれん償却額	114,894	114,894
共同開発費用分担金	60,545	1,232
その他	69,740	71,039
営業外収益合計	250,451	193,708
営業外費用		
支払利息	140,737	125,804
支払手数料	—	76,311
手形売却損	48,217	22,994
売上債権売却損	—	35,613
業務提携関連費用	—	80,000
その他	89,901	5,353
営業外費用合計	278,855	346,077
経常利益	3,082,937	3,453,714
特別利益		
固定資産売却益	2,432	139
貸倒引当金戻入額	8,045	—
その他	374	—
特別利益合計	10,851	139
特別損失		
たな卸資産評価損	384,510	—
固定資産処分損	17,134	3,500
減損損失	1,295	374,833
投資有価証券評価損	4,313	33,620
工場休止関連費用	21,005	362,126
その他	6,128	—
特別損失合計	434,387	774,079
税金等調整前四半期純利益	2,659,401	2,679,774
法人税等	1,037,175	817,847
四半期純利益	1,622,226	1,861,927

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	13,735,799	16,102,211
売上原価	7,419,039	9,599,790
売上総利益	6,316,759	6,502,420
返品調整引当金繰入額	1,364	—
返品調整引当金戻入額	—	4,000
差引売上総利益	6,315,395	6,506,420
販売費及び一般管理費	4,536,844	5,063,545
営業利益	1,778,551	1,442,874
営業外収益		
受取利息	511	1,155
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	57,447	57,447
共同開発費用分担金	33,660	1,232
その他	47,958	35,701
営業外収益合計	139,579	95,537
営業外費用		
支払利息	72,306	67,085
支払手数料	—	41,838
手形売却損	25,054	9,745
売上債権売却損	—	17,390
業務提携関連費用	—	80,000
事業再編関連費用	37,281	—
その他	36,369	2,891
営業外費用合計	171,012	218,952
経常利益	1,747,118	1,319,460
特別利益		
固定資産売却益	204	—
投資有価証券評価損戻入益	2,411	—
その他	374	—
特別利益合計	2,990	—
特別損失		
固定資産処分損	16,173	2,662
減損損失	1,295	3,886
投資有価証券評価損	4,313	5,456
工場休止関連費用	10,250	136,456
その他	6,128	—
特別損失合計	38,160	148,461
税金等調整前四半期純利益	1,711,947	1,170,998
法人税等	614,150	378,165
四半期純利益	1,097,797	792,832

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,659,401	2,679,774
減価償却費	859,977	1,140,281
減損損失	1,295	374,833
のれん償却額	94,755	94,755
負ののれん償却額	△114,894	△114,894
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,045	12,933
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,922	46,249
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△16,471	△3,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,500	—
受取利息及び受取配当金	△5,270	△6,540
支払利息	140,737	125,804
固定資産売却損益 (△は益)	△2,432	△139
固定資産処分損益 (△は益)	17,134	3,500
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,313	33,620
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,734,830	△1,693,990
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△895,520	△344,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	828,146	△273,411
その他	△130,916	△517,377
小計	1,664,959	1,557,493
利息及び配当金の受取額	5,318	6,378
利息の支払額	△110,416	△123,988
法人税等の支払額	△1,687,032	△1,439,509
営業活動によるキャッシュ・フロー	△127,171	372
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,000	—
定期預金の払戻による収入	18,000	—
有価証券の売却による収入	666	666
有形固定資産の取得による支出	△2,567,168	△2,137,686
有形固定資産の売却による収入	2,370	9,341
無形固定資産の取得による支出	△105,417	△450,000
無形固定資産の売却による収入	158,000	—
投資有価証券の取得による支出	△236,264	△32,569
貸付金の回収による収入	413	278
その他	△276,017	2,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,020,418	△2,607,100

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△599,259	3,697,221
長期借入れによる収入	4,750,000	—
長期借入金の返済による支出	△437,874	△638,450
自己株式の取得による支出	△187,634	△681
自己株式の売却による収入	304	—
ストックオプションの行使による収入	16,070	10,150
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,728	△85,015
配当金の支払額	△402,317	△461,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,137,560	2,521,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,026	△85,420
現金及び現金同等物の期首残高	544,367	1,022,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	534,340	937,403

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）

単一セグメント（医薬品事業）のため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

前第2四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年5月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年5月31日）

単一セグメント（医薬品事業）のため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）

在外子会社等がないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

前第2四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年5月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年5月31日）

在外子会社等がないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

[海外売上高]

前第2四半期連結会計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年5月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年12月1日 至平成22年5月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。